

昆虫博士キャンプ①

- 開催日 2019年7月26日～7月28日
- 会場 国際自然大学校日野春校
- ディレクター名 村中達哉（むらじ）

■キャンプのねらい

●昆虫採集を通じて、昆虫や野生動物の生活や、自然と命のつながり、尊さを知る。

■同行スタッフ（キャンプネーム）

ばるさん、ほっそー、ワッシー
いちむー、かほち、チャーリー、ぼっちゃん、あんこ

■活動内容

<1日目>
集合、移動
日野春到着
一般採集
トラップづくり
ライトトラップ観察

<2日目>
一般採集
オオムラサキセンター見学
トラップづくり

<3日目>
一般採集
山分けタイム
移動、解散



日野春校に到着！まずはトラップのことを教わりましょう。



さっそくトラップ仕掛けへ。場所選びも自分たちで行います。



天候も考慮し、短い時間ですが「一般採集」も初日から行いました。



お楽しみのひとつ、ライトトラップ観察です。



光に集まる昆虫たちに、みんな興味津々！思わず前のめりです。



朝はトラップの見回りからスタート。今日の収穫は…？



いました！カブトムシとの出会いは何より嬉しい瞬間です。



毎日ご飯をしっかりと食べて、パワーチャージです。



各自が自由に虫捕りをする「一般採集」も楽しい時間の一つです。



釣り？いえいえ、狙いは水辺に生息する昆虫や生き物です。



2日目午後はオムラサキセンターへ昆虫の見学に出かけました。



あまり見ることでできない昆虫たちに、夢中になる子どもたち。



そして大事なトラップの整備。翌朝に向けて、トラップ液の補充です。



いよいよ3日目！最終日の収穫は…？緊張の瞬間です。



お見事！何匹ものカブトムシを捕まえることができました。



一般採集も3日目になると、狙いが定まってきます。



発見を友だちと分かち合う。そんな場面も見られました。



一緒に帰ったカブトムシや昆虫たち、大事に育ててくださいね。

■キャンプのエピソード

「昆虫への優しさ」

「オレ、バッタ捕まえた」
と、ある男の子。でも飼育ケースの中にはすでに別の昆虫がいたため、放してあげること。しかし直後、隣にいた友だちの飼育ケースを見て一言。

「あっ、●●くんにあげればよかったね」

「オレ、オスのカブトムシはいらない」
最終日、山分けタイムでの出来事。初めはキャンプカウンセラーも不思議に思いましたが理由を聞いて納得。

自宅にオスを1匹飼っていて「持ち帰ると、オス2匹でケンカしちゃうと困る」これが理由でした。

昆虫をめくり、たくさんケンカもした3日間。でも昆虫への優しさもたくさん見ることができた3日間。そんな優しさを、ぜひこれからも大事にしてほしいと願っています。

「大きな●●」

今回は台風の影響も心配されましたので、2日目にオムラサキセンターへ見学に出かけました。ここは「昆虫博物館」、日野春校のエリアに生息する国蝶「オムラサキ」はもちろん、数多くの珍しい昆虫を見たり触ったりすることができる、昆虫大好きな子どもたちからすればまさに「聖地」のような場所です。

そんな楽しい見学が終わり、多くの子どもたちが「あれ見た！？」と口々に話をした昆虫がいます。何だと思えますか？

それは何と、巨大な「ゴキブリ」と「ヤスデ」でした。日本では間違いなく見ることのない中南米生息の巨大サイズに「うわ～！」「でかい！」と驚きの声。一般的にこれらは「嫌われもので見たくない」とされる傾向がありますが、ここまで巨大だと「驚き」の対象に早変わりするから不思議です。この夏、また一つ貴重な体験になっていれば嬉しい限りです。